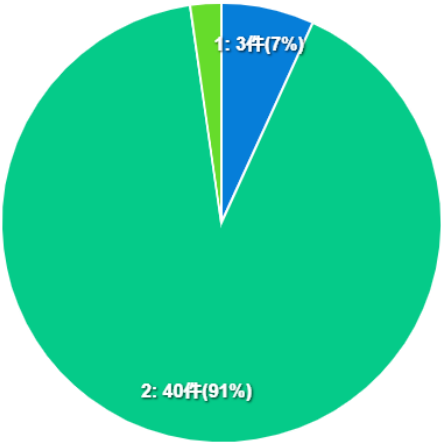
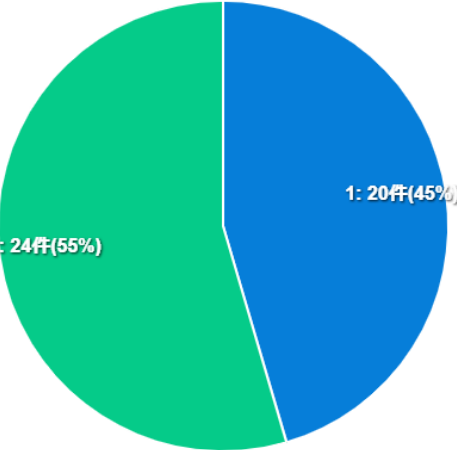
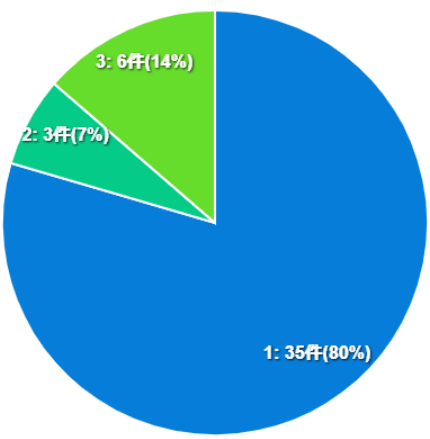


令和4年度に保健所から猫の譲渡を受けた方から頂いたアンケートの結果です。

(アンケートにお答えくださった方 44名)

アンケート質問&結果	保健所職員からのコメント																		
<p>Q 1 同居している人の総数を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居9名(猫1匹飼育4名、猫複数飼育3名、犬猫飼育1名):20% ・2人以上同居:35名(79%) 	<p>・自分に何かあった時、代わりに世話をしてくれる方をあらかじめ確保し、終生飼養ができるような体制を整える必要があります。万が一に備えて家族や知人、老猫ホーム等預け先の確保をお願いします。</p>																		
<p>Q 2 現在飼っているペットの数を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猫のみ飼育(うち猫1匹:20名、猫複数:13名):33名(75%) ・犬と猫を飼育:6名(14%) ・猫と他の動物(小鳥や金魚)を飼育:2名(5%) ・動物種不明:3名(7%) 	<p>・地震などもしもの時に餌や水、猫砂などのストックが必要になるため日頃から備蓄をするようにしましょう。動物を複数飼育する場合は、特に避難時の移動方法などあらかじめ確認をお願いします。</p>																		
<p>Q 3 譲渡日を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月:15匹(34%) ・7月～9月:20匹(45%) ・1月～3月:9匹(20%) 	<p>・保健所に猫が持ち込まれるのは4～9月が多い傾向にあります。そのほとんどが子猫であるため、保健所にくる猫を減らすには、不妊手術の実施が必要です。</p>																		
<p>Q 4 お譲りした猫の性別を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オス22匹、メス22匹 																			
<p>Q 5 譲渡時の年齢を選択してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～5か月:38匹(86%) ・6か月～1才:2匹(5%) ・2～6才:3匹(7%) ・13才以上:1匹(2%) 	<p>・保健所は子猫を引き取るケースが多いですが、飼えなくなってしまったおとなの猫も引き取ることがあります。最後まで穏やかに暮らせる場所として、新しい飼い主の方に譲渡できることは本当にありがたいことです。</p>																		
<table border="1"> <caption>譲渡時の年齢別の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>匹数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 2～5か月</td> <td>38</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>2. 6か月～1才</td> <td>2</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>3. 2～6才</td> <td>3</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>4. 7～12才</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>5. 13才以上</td> <td>1</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	匹数	割合	1. 2～5か月	38	86%	2. 6か月～1才	2	5%	3. 2～6才	3	7%	4. 7～12才	0	0%	5. 13才以上	1	2%	<ul style="list-style-type: none"> ● 1. 2～5か月 ● 2. 6か月～1才 ● 3. 2～6才 ● 4. 7～12才 ● 5. 13才以上
年齢	匹数	割合																	
1. 2～5か月	38	86%																	
2. 6か月～1才	2	5%																	
3. 2～6才	3	7%																	
4. 7～12才	0	0%																	
5. 13才以上	1	2%																	
<p>Q 6 現在の猫の健康状態はどうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい100% 																			

<p>Q 7 主な飼育場所はどこですか？</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋内で自由:91% ・屋内飼育のケージの中:7% ・屋内と屋外出入り自由:2% 	<p>・譲渡の際には屋内飼育を譲渡の条件として説明していますので、猫は屋内飼育をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1. 屋内飼育のケージ等の中 ● 2. 屋内で自由 ● 3. 屋内と屋外出入り自由 ● 4. 屋外のみ
<p>Q 8 猫を外に出して飼育すると、病気やケガ、交通事故、迷子になって戻ってこないなど起きる場合がありますが、知っていますか？</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・知っている100% 	
<p>Q 9 所有者明示(迷子札やマイクロチップ装着など)をしていますか？</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・している45% ・していない55% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1. はい ● 2. いいえ
<p>Q 10 Q9 でしていると回答された方に質問です。どのような所有者明示をしていますか？</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・首輪に連絡先を明示:11名(55%) ・マイクロチップ装着:6名(30%) ・迷子札:4名(20%) ・居場所が検索出来るチップを装着:1名(5%) 	

<p>Q 11 Q 9 でしていないと答えた方(24名)に質問です。所有者明示をしない理由は何ですか？(複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内で飼育している、家から出ないから: 10名(42%) ・首輪を嫌がる: 7名(29%) ・マイクロチップ装着がかわいそう: 2名(8%) ・去勢するときにマイクロチップ装着する予定、脱走防止策を徹底しているから、首輪選びに迷っている、駐車場までしか外に出ない: 各1名(各4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内飼育の猫も、元旦に起きた能登半島地震のような万が一の災害に備えて、所有者明示を猫にしてください。 ・R4年度には保健所に猫が逃げたと1年で160件連絡がありました。2, 3日に1回猫が逃げています。飼い主明示をしていないと猫が家に戻ってこれなくなりますので、かならず所有者明示をしてください。 												
<p>Q 12 脱走したことはありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市内の路上等での猫の死体収容は R4年度に1075匹ありました。1日あたり約3匹が外で亡くなっています。外に出ると車にひかれたり、他の猫とけんかなどしてケガや病気になるケースもあります。 												
<ul style="list-style-type: none"> ・ない89% ・ある11% 													
<p>Q 13 Q12 であると回答された方 脱走回数、詳細と脱走防止対策を入力してください</p>													
<ul style="list-style-type: none"> ・引き戸を開けて出て行ったため、ゲートを設置した ・当初2回猫にハーネスをつけて庭や家の周りを散歩しているためか直ぐに戻ってきた。1年ほど脱走なし、逃げる様子も見られない ・5回(庭木、車庫、屋根、畑)窓を開けない、窓に鍵に掛ける。 ・すぐ捕まる。呼ぶと戻って来る 													
<p>Q 14 譲渡後、猫に不妊去勢手術をしましたか？</p>													
<ul style="list-style-type: none"> ・した80% ・していない14% ・手術済みだった7% <div style="display: flex; align-items: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 1. した ● 2. 手術済みであった ● 3. していない  <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. した</td> <td>35</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>2. 手術済みであった</td> <td>3</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>3. していない</td> <td>6</td> <td>14%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	Category	Count	Percentage	1. した	35	80%	2. 手術済みであった	3	7%	3. していない	6	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が不妊去勢手術を実施していただき、ありがとうございました。猫の不妊手術を実施することは猫にとって季節ごとに訪れる繁殖期のストレスが減ったり、外に出たがったりすることが減ります。実際保健所には、飼い猫が繁殖シーズンに外に出てしまい、妊娠して戻ってきたが、子猫が増えて飼えなくなったと相談や猫の持ち込みされるケースもあります。今後も、適正飼養の一環として不妊去勢手術の啓発をしていきたいと思います。手術の時期などについてはかかりつけ動物病院で相談するのがベストです。
Category	Count	Percentage											
1. した	35	80%											
2. 手術済みであった	3	7%											
3. していない	6	14%											
<p>Q 15 不妊去勢手術はいつ、どこで実施されましたか？</p>													
<p>時期をみて、かかりつけ動物病院で実施が多数</p>													

<p>Q 16 不妊去勢手術をしていない理由は何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから行う予定: 4件 ・必要性を感じない: 1件 ・その他(完全室内飼育であり異性の猫を飼育する予定が無い。また、高齢猫への全身麻酔を避けたいため。): 1件 	
<p>Q 17 譲渡後に困ったことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし93% ・ある7% 	
<p>Q 18 困っていることを記入してください</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこをあちこちにしてしまうこと ・子どもの顔や身体の上を走りケガをした ・仔猫の頃嘔吐下痢があり困りましたが、治りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿のトラブルについては、トイレが合わない、マーキングしているなど様々な理由がありますが、病気が原因で起こすことがあるので、頻繁に続くようなら動物病院を受診してください。 ・興奮して走り回ることがあるので、小さなお子さんがいるご家庭は大人が見ている時に接するのがよいと思います。
<p>Q 19 猫を譲り受けてよかったですか？</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・よかった98% ・どちらともいえない2% 	
<p>Q 20 どんな点がよかったですか？</p>	
<p>癒される、かわいい(多数ありました)以下抜粋 心が休まる、既存で飼っていた猫が元気になった、家族の会話、なごみ、とにかく可愛くて性格の良い子なので、幸せな気持ちになる。また、人間同士が陰悪なムードになっても、タマちゃんが来ると思わず笑顔になり、和やかになる。救世主的存在。我が家に来て表情が柔らかくなり、欠かせない家族の一員になってくれたことがとても嬉しいです。賢い子で、おもちゃをくわえては私のところへ持ってきてくれます。大人しい。小さい頃は大変だったけど、毎日癒されるし、家族のコミュニケーションが増えた。ハクが我が家に来てから、家族みんなが笑顔になりました。甘えん坊で、遊ぶのが大好きで、家族のお布団の上で寝転がったり。猫の命を守る事ができた事、動物と生活をともにすることにより命の大切さと育てる大変さを実感できたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回答から譲渡された猫たちがとても幸せに暮らしている様子が分かりました。譲渡に携わる者としてもとても嬉しい報告をたくさんいただきました。ありがとうございました。

<p>Q 21 どんな点がよくなかったですか？</p>	
<p>・先住猫と合わなかった</p>	<p>・保健所からの譲渡では、終生飼養をお願いしていますので、先住猫と折り合いつかないケースもあると思います。今後はトライアル制度も検討していきたいと考えております。</p>
<p>Q 22 猫の譲渡、その他について、ぜひ自由なご意見・ご感想をお聞かせください。 (たくさんご意見ご感想をいただきました、ありがとうございます。一部を抜粋しました)</p>	
<p>・もっと保健所でひきとれることが知られて、幸せになれる猫たちが増えてくれたらと思います。我が家では1匹しか引き取れませんでした、この子は一生大事にします。</p> <p>・譲渡先などまだ知名度が少ないと思います。広報や情報誌などで載せたほうがいいと思います、野良猫が少しでも減るように、地域猫なども含めて活動したらいいですね</p> <p>・罪のない猫を不幸にすることなく、猫を飼うことで私たちも愛情豊かに過ごせることができました。動物と言えど「いのち」に関わることなので、ペットビジネスではなく公的な譲渡の仕組みは大変意義のあることだと思います。</p> <p>・ペットショップで購入もいいですが保健所や保護猫の譲渡会なので猫を譲り受け1匹でも幸せな猫が増えることを願っています。</p>	<p>・ホームページを見ていただいて譲渡につながっていますが、今後は広報や SNS などをさらに活用し、保健所からの譲渡の取り組みや適正飼養の推進のため情報発信し、殺処分頭数の削減を目指して取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>・場所が極めてわかりづらいです。見えるところに看板が欲しいです。</p> <p>・先住猫がいる先は、トライアルを導入してみたら…と思います。我が家は、いまだに1匹の先住猫との相性が良くないです。</p> <p>・保護された時に小さく、保健所の方がお家でお世話をしてくださっていたと伺い、大事に育てて頂き感謝しております。公の機関のため難しいかと思いますが、保健所で飼養する犬猫に必要な物等を寄付できるようにどこかに明記して頂けたらと思います。</p> <p>・初期費用について市から支援があると良い。病院費など</p> <p>・譲渡される場所と書類を書く所が遠い。あちこちするので、時間の確保をしないとイケない。</p>	<p>・場所が分かりづらいとのご指摘ですが、今後は行き方も含めて、皆様にわかりやすく説明できるよう改善します。</p> <p>・譲渡の手続きで、畜犬管理センターと保健所を行き来する点については、動物を管理する場所が離れており、ご迷惑をおかけしました。ただ、この点についてはすぐに改善できない点ですので、ご了承いただければ幸いです。</p> <p>・その他ご意見についても必要に応じて今後検討します。</p>